

# 令和4年度 学校評価報告書

浜松市気田小学校

## 1 ねらい

学校教育目標「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生きる子」の具現化にあたり、目ざす子供像に対する重点的取組や教育活動を支える主な取組について、教師・児童の進捗状況を把握します。また、課題を洗い出し、今後の教育活動の重点化を図っていきます。

## 2 自己評価「学校教育アンケート」を教師・保護者・児童にそれぞれ実施しました。

### 【3者比較の分析】

#### (1) 成果

- 「①学習への取組、②学習内容の理解」が、3者とも達成していました。学習内容を「自分事」として授業に臨み、友達と話し合いながら考えを深められるようになってきています。
- 「⑥生活のきまり、⑧感謝、⑨健康・安全」も3者が達成していました。子供たちは、約束事やきまりを守る心、周りの人へ感謝する心、健康・安全を意識する心が育ってきています。
- 「⑬安心できる学級・学校、⑰ノーメディアの意識、⑱命の大切さ」についても、3者とも達成していました。安心できる学級・学校で楽しく生活し、命の大切さを意識することができています。また、ノーメディアの日が定着し、よい生活習慣へつながっています。
- 「⑭思いやり、⑮異学年交流」については、2者が達成し、おおむねよい評価でした。いろいろな人と関わる活動を通して、相手を思いやる優しい心が育ってきています。

#### (2) 課題

- 「⑩体力の向上」については、3者とも達成していない項目でした。低学年は進んで外で体を動かす子が多いですが、高学年になると外に出ない傾向があります。
- 「③課題解決学習、④家庭学習、⑤挨拶・言葉遣い、⑫なりたい自分を思いながら規則正しい生活をする」は、保護者の方の評価が低い項目でした。
- 「⑪あきらめずに努力する」については、教師の評価が低い項目でした。学習や運動に取り組む場面で、少し難しいときにすぐにあきらめる傾向があると感じています。
- 「⑯読書」については、子供の評価が低い傾向にあります。

## 3 学校関係者評価（令和5年2月24日 学校運営協議会）

- 子供がやりたいと思ったことは、進んで取り組めるので、やらされるのではなく、やりたいと思える活動が企画できればよいと思う。
- 子供が小中学校で楽しく過ごせるとふるさとがよい思い出になるので、楽しい思い出ができる学校になるよう協力したい。
- 様々な体験活動ができているが、保護者の評価に表れていないので、もっとやってい

る活動を発信し広めていく必要がある。

- 子供たちは認めてもらえると伸びるので、認める声掛けを学校・家庭・地域できるとよい。
- 体験活動がマンネリ化してきているのではないだろうか。
- 学習ボランティアの仕事を具体的に示すなど、募集のPRの仕方を変えるとよいのではないか。
- ブログ等に季節の学校の様子を載せると、気田小のよさが伝わるのではないか。

#### 4 令和5年度改善策（学校関係者評価を受けて）

- 「体力向上について」縦割り遊び等で、楽しみながら進んで外で体を動かせるよう学校全体で取り組んでいきたいと思います。
- 「課題解決学習」については、自分で学習のめあてをもてるよう支援していきたいと思います。また、「なりたい自分を思いながら規則正しい生活をする」については、将来の自分の姿を想像し、夢や希望をもって生活できるよう、道徳の授業等を充実させていきます。
- 「あきらめずに努力する」については、励ましながら、自分で乗り越える経験を積み重ねられるよう支援していきます。
- 「読書」については、朝読書や読書週間の活動を継続し、今後も子供たちが進んで読書できる環境を整えていきたいと思います。